

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和3年6月30日

福岡県知事 殿

提出者

住 所 福岡県大牟田市新開町1番地

氏 名 デンカ株式会社 大牟田工場

執行役員 大牟田工場長

石塚 芳己

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0944-52-1063

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	デンカ株式会社 大牟田工場
事業場の所在地	福岡県大牟田市新開町一番地
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	無機化学工業製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：37,859(百万円)
③従業員数	556(名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付(表1)参照



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付(表2)参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和2年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	排出量	別紙添付(表3)	
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 煤塵・ダスト類は、工程密閉化の他に集塵、分別をきちんと行い工程戻し等により発生を抑制した。 ・ 工程の見直し等による零れ防止の実施。 ・ 廃棄物の分別徹底等による有償及び逆有償化を進めた。 		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	排出量	別紙添付(表3)	
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 煤塵・ダスト類は、工程密閉化の他に集塵、分別をきちんと行い工程戻し等による発生を抑制。 ・ 廃棄物の分別徹底等による有償及び逆有償化。 		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 可燃性廃棄物(紙クズ等)の分別による有償化。 ・ 煤塵・ダスト類の分別による再資源化。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 高含水汚泥の脱水による再資源化への検討。 ・ 廃酸、廃アルカリの中和処理設備での中和検討。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙添付(表3)	
	(これまでに実施した取組) ・ 煤塵・ダスト類は、集塵や分別をきちんと行い、工程戻し等による再生利用		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙添付(表3)	
	(今後実施する予定の取組) ・ 煤塵・ダスト類は、工程密閉化の他に集塵、分別をきちんと行い工程戻し等による再生利用促進。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙添付(表3)	
(これまでに実施した取組) ・ 特になし			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙添付(表3)	
(今後実施する予定の取組) ・ 特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙添付(表3)	
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙添付(表3)	
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	全処理委託量	別紙添付(表3)	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙添付(表3)	
	再生利用業者への処理委託量	別紙添付(表3)	
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組) ・ 煤塵・ダスト類は、工程密閉化の他に集塵、分別をきちんと行いセメントの原料や路盤材等への再生利用促進。 ・ 可燃性廃棄物（紙屑等）の分別による有償化。		

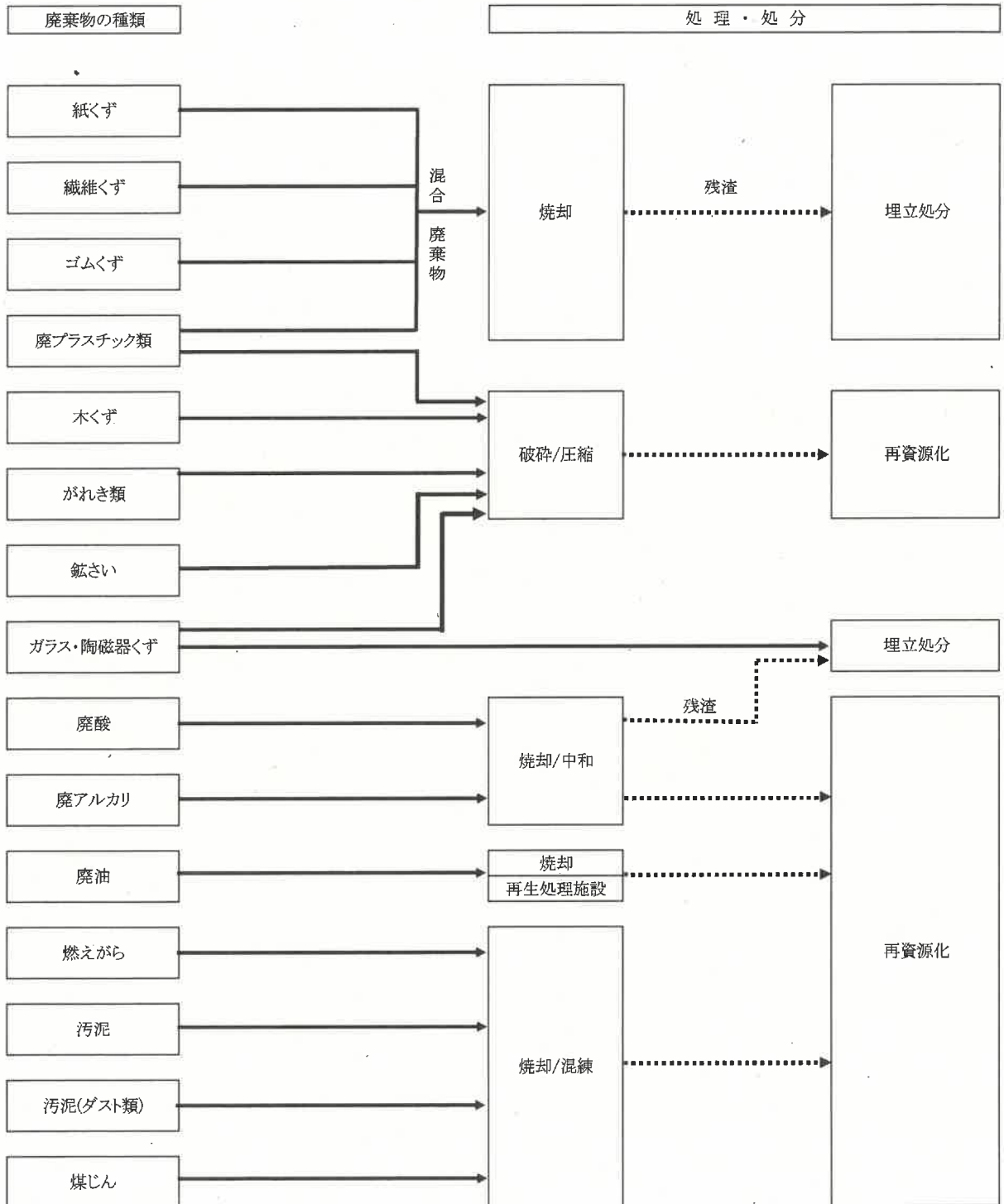
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙添付(表3)	
	全処理委託量	別紙添付(表3)	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙添付(表3)	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙添付(表3)	
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 煤塵・ダスト類は、工程密閉化の他に集塵、分別をきちんと行いセメントの原料や路盤材等への再生利用促進。 ・ 可燃性廃棄物（紙屑等）の分別による有償化。 		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

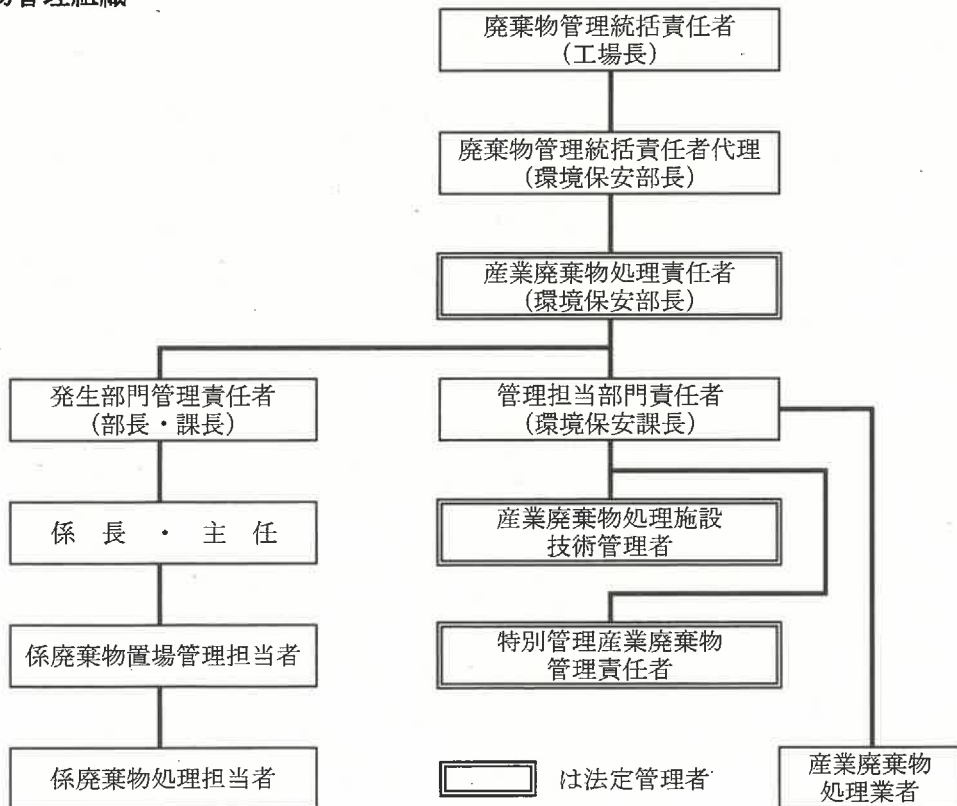
(表1) 廃棄物処理フローシート (廃棄物の処理法)



(表2) 管理体制 (廃棄物処理に関する管理組織等)

大牟田工場における廃棄物管理体制	産業廃棄物統括管理責任者	大牟田工場長 石塚 芳己
	廃棄物管理担当部門	環境保安部 部員 : 33名
	廃棄物管理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定等、廃棄物の管理及び処理に関する全ての事項を統括する。
	廃棄物管理統括責任者代理	○廃棄物管理統括責任者を補佐、並びに職務を代行する。
	産業廃棄物処理責任者	○廃棄物管理統括責任者の指示により、工場全体の産業廃棄物が適切に処理されるよう総合的な管理を行う。
	産業廃棄物処理施設技術管理者	○産業廃棄物処理施設の維持管理に関する技術上の業務を担当する。
	特別管理産業廃棄物管理責任者	○特別管理産業廃棄物の処理に関する業務を管理監督する。
	工場運営委員会	○廃棄物処理を含めた環境・保安・安全・健康等に関する検討。 廃棄物に関しては、廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進等、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ○資源の有効利用と産業廃棄物の削減のため、具体的なテーマを取り上げ、廃棄物の削減とリサイクルの改善策を検討、実施する。 ・委員長－工場長 ・委員－各部長
役割	管理担当部門責任者 (環境保安課長)	○産業廃棄物処理計画の作成 ○産業廃棄物管理状況の把握 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○産業廃棄物処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○業務委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付と管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓蒙 ○廃棄物に関する法令の改定等、情報の収集 ○その他廃棄物に関する事項

廃棄物管理組織



(表3) 普通産業廃棄物の種類別処理計画の概要

(単位:t)

産業廃棄物の種類	令和2年度の 産業廃棄物 発生量実績	2021年度計画												
		①産業廃棄物 発生量	②自己直接 再生利用量	③自己 直接埋立処分 又は 海洋投入量	④自己中間 処理量	⑤自己中間 処理残存量	⑥自己中間処理 後再生利用量	⑦自己中間処理後 直接埋立処分又は 海洋投入量	⑧委託処分量			焼却処分 中和処理等		
								全処理委託	優良認定 処理業者	再生利用者				
燃え殻	152	120	0	0	0	0	0	0	0	0	120	0	120	0
汚泥	720	580	0	0	0	0	0	0	0	0	580	570	580	0
汚泥(ダスト類)	12,117	9,690	0	0	0	0	0	0	0	0	9,690	7,750	9,650	40
廃油	109	90	0	0	0	0	0	0	0	0	90	70	10	80
廃アルカリ	38	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	20	0	30
廃プラスチック	368	290	0	0	0	0	0	0	0	0	290	230	140	150
木くず	337	270	0	0	0	0	0	0	0	0	270	220	270	0
管理型混合廃棄物	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	5	0
ガラス・陶磁器くず	575	460	0	0	0	0	0	0	0	0	460	370	450	10
煤じん	175	140	0	0	0	0	0	0	0	0	140	110	140	0
がれき類	626	500	0	0	0	0	0	0	0	0	500	200	500	0
鉱さい	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
金属くず	23	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20	10	20	0
合計	15,247	12,196	0	0	0	0	0	0	0	0	12,196	9,553	11,886	310